

経営比較分析表（令和5年度決算）

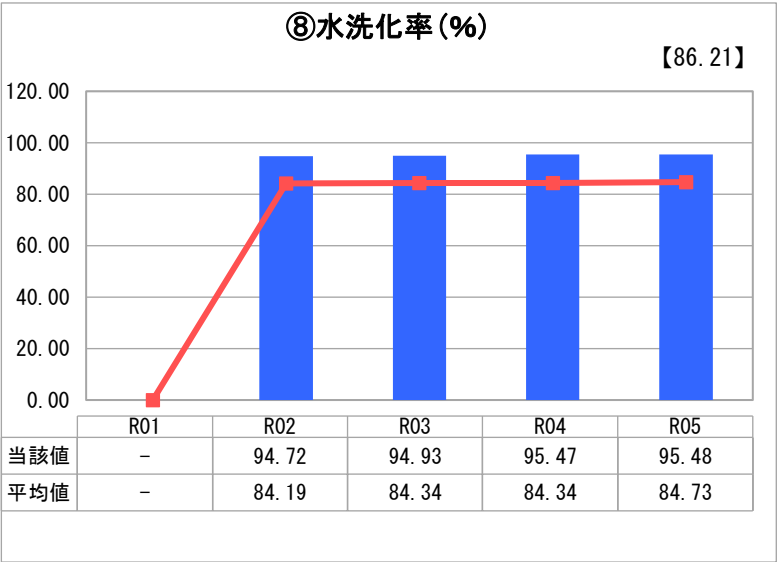
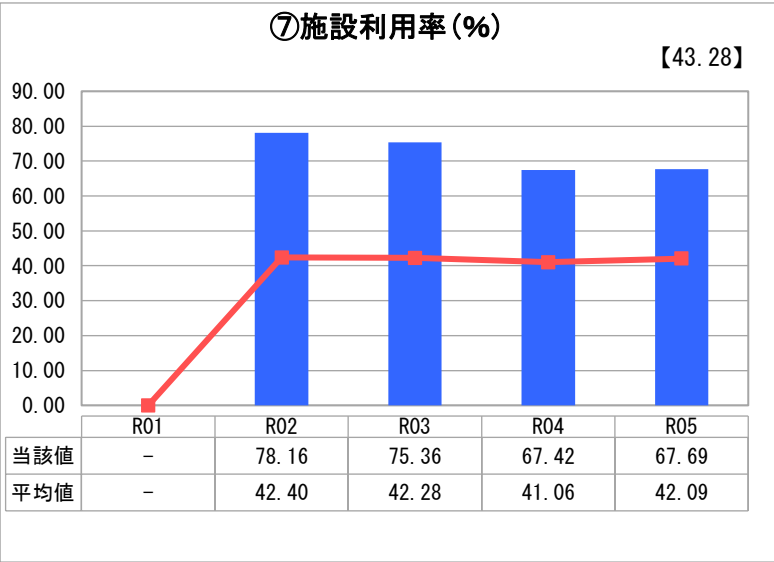
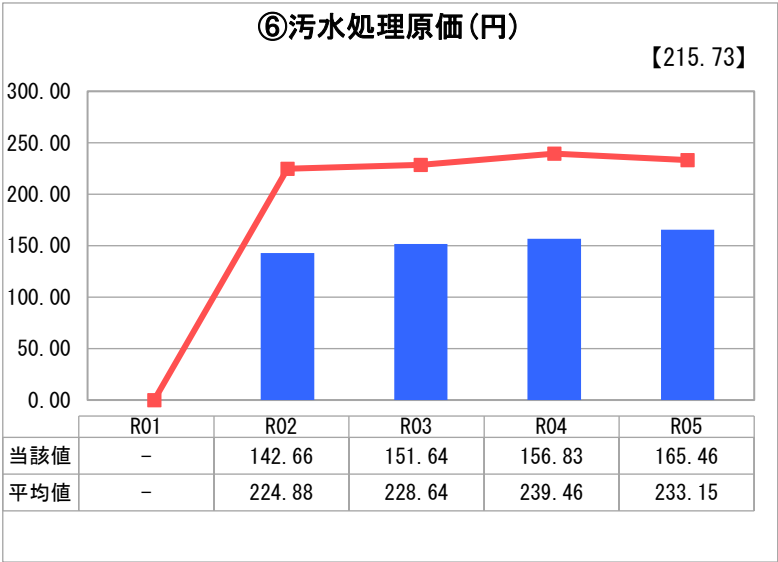
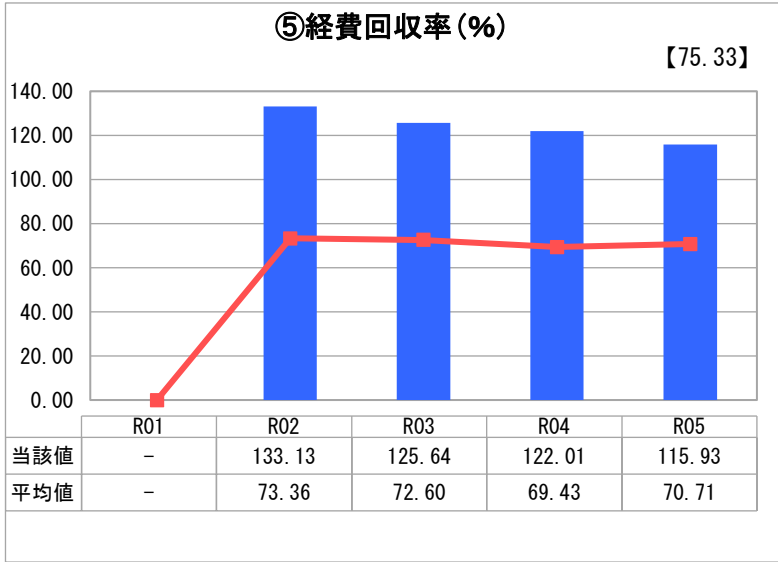
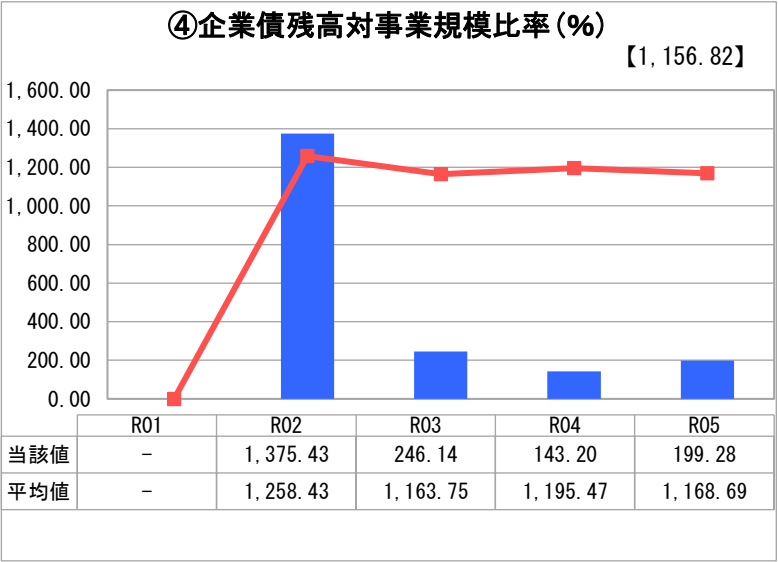
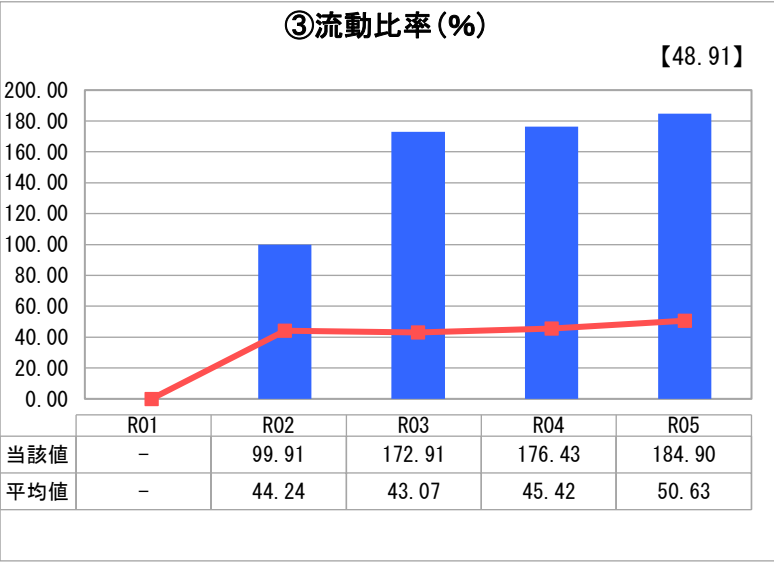
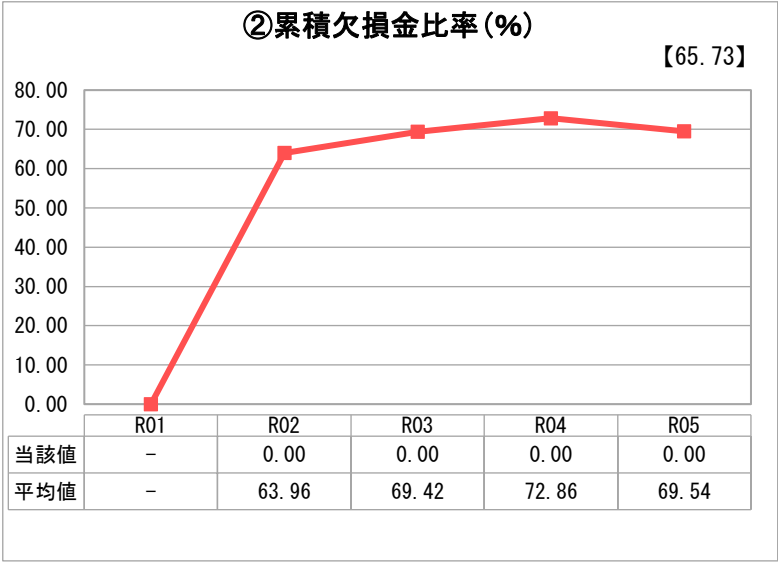
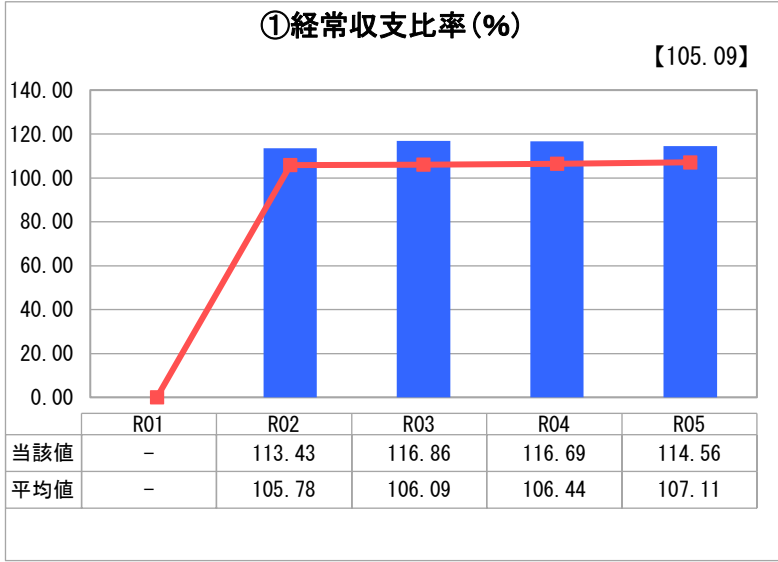
長野県 辰野町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	76.53	20.12	90.19	3,894

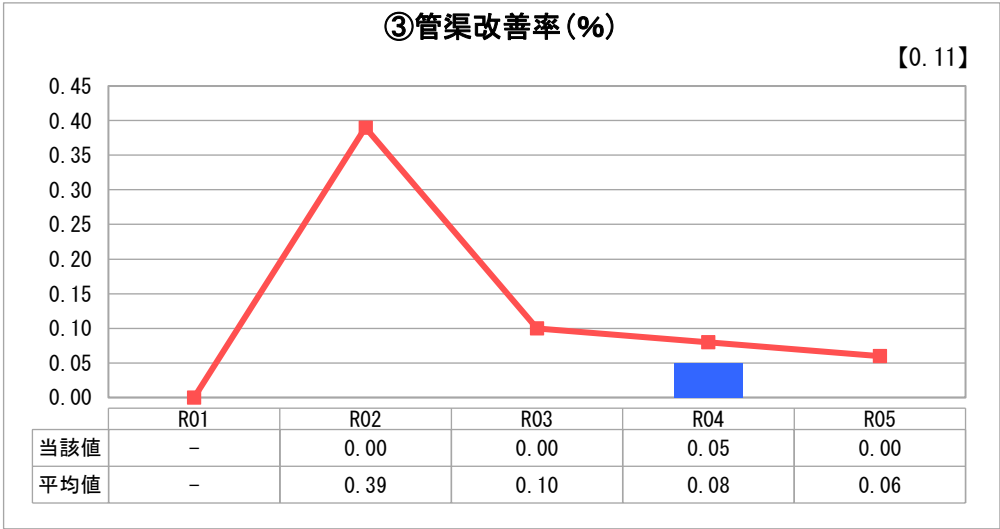
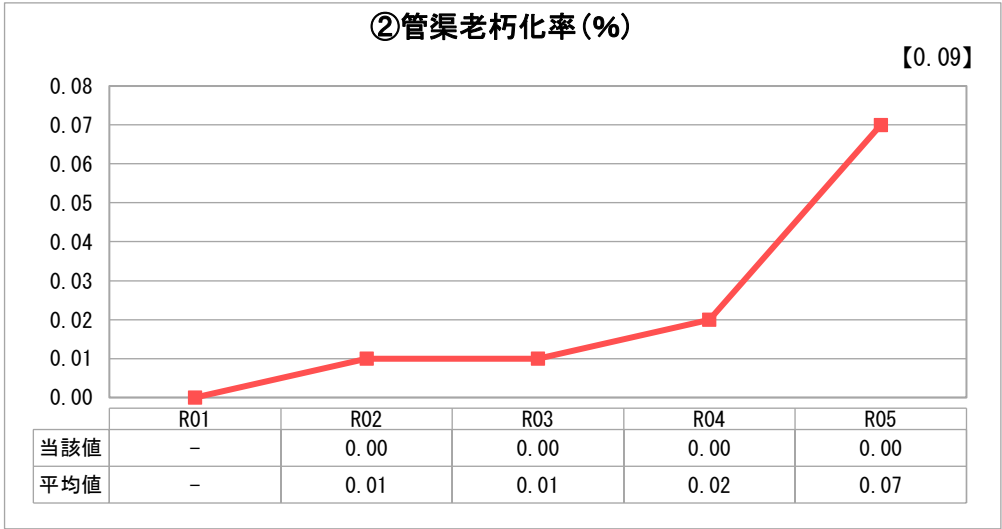
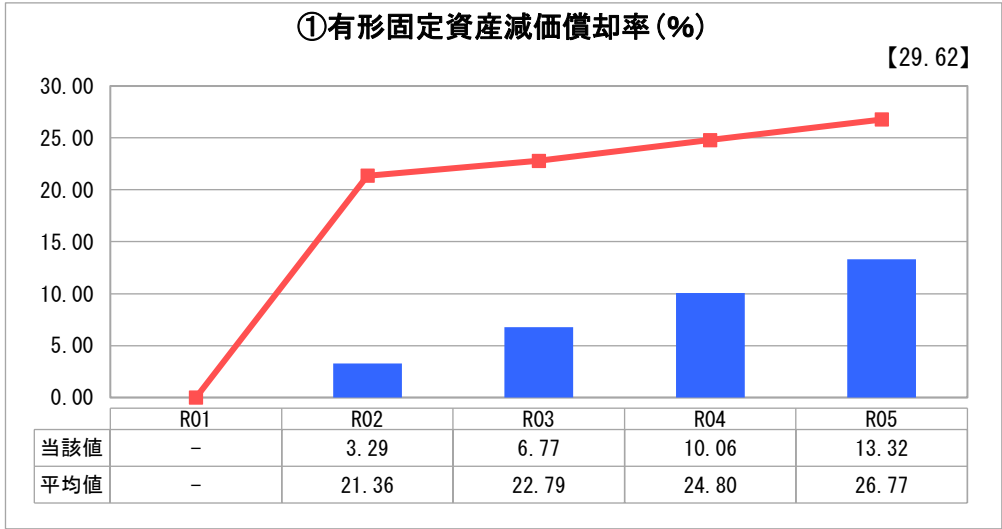
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,289	514.61	35.54
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,653	1.83	1,996.17

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は基準である100%を超える114.56%で類似団体平均値を7.45ポイント上回り、健全な状態です。しかしながら、一般会計繰入金に一部依存した収入構造になっているため使用料改定の検討・実施など改善が必要な状態です。③流動比率は184.90%と類似団体平均値を大きく上回りました。これは、1年以内に支払わなければならない負債の現金を確保できている状況です。④企業債残高対事業規模比率は類似団体平均値を大きく下回りました。今後は、償還金の支払いが減少傾向で推移していくことが予想されます。⑤経費回収率は基準である100%を超える115.93%で、類似団体平均値を大きく上回っています。引き続き使用料収入の確保に努めます。⑥汚水処理原価は165.46円と類似団体平均値を67.69ポイント下回りました。引き続き汚水処理費の削減に努めます。⑦施設利用率は67.69%で類似団体平均値より高い状況ですが、長期的には人口減少に伴う利用率の低下が懸念されます。⑧水洗化率は95.48%で類似団体平均値を上回っています。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は13.32%と類似団体平均値より低く、②管渠老朽化率と③管渠改善率は0%となっており、現在のところ大規模な更新・修繕を要する箇所は見られません。今後はストックマネジメント計画に基づき、長寿命化や耐震化事業を計画的に行っていきます。

全体総括

令和5年度は地方公営企業法適用4年目でしたが、経常収支比率、経費回収率ともに類似団体平均値を上回っており、健全経営のもと事業実施できたと認識しています。令和5年度は見直し後の経営戦略の計画1年目でしたが、収入としては使用料収入が減少し、下水道事業特有の一般会計繰入金に依存がみられるものの、汚水処理費の削減を図ることにより、下水道事業全体で経費回収率は100%を超えています。使用料改定については下水道事業全体で今後10年間は経費回収率は100%以上の見込みであることから、4年後の経営戦略見直し時に再度、検討・実施を行う予定です。なお、令和元年度以前の経営比較分析値については法適用前のため、0.00で表示しています。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。